

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス くりえいと		
○保護者評価実施期間	2024/12/24		2025/1/10
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	11名	(回答者数) 10名
○従業者評価実施期間	2025/1/12		2025/1/26
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	2025/2/28		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・メリハリのある療育・支援	・静と動の切り替えを意識して活動プログラムをチームで作っている。 ・してはいけないこと、危険なことなど、ダメなことはダメだと理由も含めて伝えている。	・職員間で支援のズレがないように、情報共有をはかる。
2	・寄り添った支援	・子どもが困った時に、子どもの意見や気持ちを傾聴し、一人ひとりに合った支援を行うようにしている。 ・NCプログラムを活用し、スモールステップを意識して支援を行っている。 ・意思表示が難しい子に対しては、安心して過ごせるように、より細かい療育を行うようにしている。 ・気持ちを汲み取ることが心がけて支援をしている。	・子どもたちから聞いたことを、職員間で共有し、どのような支援がいいのかを話し合い、工夫していく。
3	・利用者の様子等を、LINE等にて伝えている。	・個人情報に留意しながらも、定期的に写真や、イベントの様子を保護者様にお伝えしている。	・さらにお伝えできることがあれば伝えていきたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・地域資源との関わり	・施設と地域の関わりとなる場が分からない。 ・関わりとなる場所への伺いを遠慮してしまう。	・情報収集を行い、連携していけるようにする。
2	・保護者交流会などの交流機会が少ない。	・どのように開催したらよいか分からない。	・情報収集を行い、交流の場を設けられるようにしていく。
3			

## 公表 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス くりえいと				公表日	年 月 日	利用児童数	11	回収数	10
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応			
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	9			1	・運動できるスペースが広いと、なお良いと思います。	・活動ごとの工夫している。		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	8	1		1				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	7	1		2				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	8	1		1	・少し湿気の匂いが気になります。	・定期的に換気や、空気清浄機を活用しています。		
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	10				・特性に合った楽しい活動を毎回取り入れてくださり、ありがとうございます。写真や動画の配信も嬉しいです。			
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	9			1				
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	10				・こちらからうまくニーズを伝えられなくても、ちゃんと読み取って計画を作成いただいております。			
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	9			1				
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	10							
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	9			1				
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	5	1		4				
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	10							
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	10							
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	5	3		2	・マカトンサインを教えてください。			
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	8	2			・連絡帳とLINEで伝えていただいている。			
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	7	3						
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	10							
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。	5	1	1	3	・夏祭りでは、他の保護者の方とお話できて良かったです。			
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	8	1		1				
非 常 時 等 の 対 応	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	10							
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	6	2		2	・LINEでの活動の様子を知らせてくれるのでとても分かりやすいです。			
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	10							
	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	9			1				
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	8			2				
満 足 度	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	10							
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	8	2			・今の所、事故やケガ等なく過ごせています。			
	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	9		1		・毎回、行くことを楽しみにしていて、安心して過ごせていると思います。 ・あまり遠いから行かないです。 ・いつも楽しそうに行き、何をしたらいいのか伝えてくれます。私も安心できます。	・通いたくなるような、活動やプログラムを取り入れていきます。		
28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	8	2							
29	事業所の支援に満足していますか。	10				・くりえいとの活動が日々の成長につながって本当に満足しています。				

公表 事業所における自己評価結果

事業所名	児童発達支援・放課後児童デイサービス くりまんと	公表日	年 月 日			
項目	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
現 状	1 利用定数が児童発達支援等のスペースとの混雑で確保されているか。	7		・混雑スペースへ工夫して確保している。 ・予約待ちが少なく安心して過ごせるようにしている。		
	2 利用定数やこの日の状況等に応じて、職員配置数は適切であるか。	7		・必要に応じて日替わりで増員している。		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構成された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の程度に応じ、バリアフリー化や補助器具等、障害児の参加が容易に行われるようになっているか。	7		・利用者が使いやすいように設計して環境を整えている。 ・必要に応じて増員が、すべり止めを置いておろすなどの工夫が施されている。		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた環境になっているか。	7		・定期的に清掃をしている。		
	5 必要に応じて、こどもが個別の困難や発達等を支援することに対応できる体制になっているか。	7				
課 程	6 発達支援を促すための PCCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参加しているか。	7		・定期的に目標を設定し、達成状況について共有し、共有している。		
	7 保護者向け研修により、保護者等の理解や協力を得る機会を設けており、その内容を発達支援につなげているか。	7		・アンケートを実施して、改善に取り組んでいる。		
	8 職員が個別支援を促す機会を設けており、その内容を発達支援につなげているか。	7		・個別支援で意見等を共有している。		
	9 第三者による外部研修を行い、研修結果を業務等に活かしているか。	1	6		・必要に応じて行いたい。	
	10 職員の業務の向上を図るために、研修を実施する機会や個人内での研修を実施する機会が確保されているか。	7		・内訳別に研修に参加している。 ・定期的に内研研修を行っている。		
課 程 外 の 課 程	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7				
	12 様々なことに対応してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を適切に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7		・児童発達支援計画作成の目的と目標を共有して作成している。		
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援計画作成だけでなく、こどもの発達に関する職員が共通認識の下で、こどもの成長の発達を促すことに取り組んでいるか。	7		・計画の内容から支援内容を考えている。		
	14 児童発達支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		・ICプログラムを実施している。		
	15 こどもの発達行動の観察を、観察されたツールを用いたフォームやアセスメントや、日々の活動観察なども活用しているか。	7		・職員間で共有し、支援内容を考えている。		
	16 児童発達支援計画は、児童発達支援プログラムの「児童発達支援の提供(支援)」の「基本支援」、「個別支援」、「個別支援」及び「他職種連携」の枠組みで支援内容を記載でき、こどもの成長の発達を促すことに取り組んでいるか。また、個別支援や個別支援計画が作成されているか。	7		・職員間で話し合いしながら支援内容を決定している。		
	17 支援プログラムの立案をチームで行っているか。	7		・職員間で話し合いながら支援内容を決定している。		
	18 支援プログラムが固定しないよう工夫しているか。	7		・職員も大事だが、同じ活動に同じにやらせたいように工夫している。柔軟な対応をしている。		
	19 こどもの状況に応じて、個別支援と集団活動を適切に組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7		・男女が分かれている。		
	20 支援計画には職員間で必ず話し合いを行い、その目的や支援の内容や個別支援について話し、チームで連携して支援を行っているか。	7		・職員間で話し合い、確認している。		
課 程 外 の 課 程	21 支援計画には、職員間で必ず話し合いを行い、その目的や支援の振り返りを行い、互いの成長を促しているか。	6	1	・個別支援について、こどもと共有の機会がある。 ・職員間で話し合いながら支援内容を決定している。		
	22 日々の活動に応じて支援することを実施し、支援の記録・改善につなげられているか。	7		・記録や職員の間からより良い支援が得られるよう工夫している。		
	23 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の進捗の進捗を確認し、必要に応じて修正しているか。	7		・定期的に話し合い、職員間で内容を話し合っている。		
	24 児童発達支援事業所のサービス提供体制や職員間の連携に、どのような改善も実施した事例があるか。	7		・会議に出席して情報共有している。		
	25 地域の保健、医療(主に療育や発達障害専門機関)、児童発達支援、児童発達支援センター等と連携し、支援を行う事例があるか。	7		・必要に応じて支援体制を整えている。		
	26 個別支援計画に向けた支援を行う上で、ソーシャル・スキル・トレーニング等の個別支援を行っているか。また、必要に応じて、個別支援だけでなく、他職種連携、特別支援学校の連携等を通じて、支援内容を共有し、成長を促しているか。	7		・職員間で情報共有を行う。		
	27 小学校の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、児童発達支援計画の共有と連携を行っているか。	6	1	・必要に応じて行っている。	・職員間で情報共有を行う。	
	28 (28-30は、センターのみ回答)					
	29 地域の他の児童発達支援センターや発達障害児支援事業所等と連携を図り、地域全体の向上に資する取組を行っているか。					
	30 課の向上を図るため、積極的に専門機関や関係者から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。					
課 程 外 の 課 程	31 (28-30は、センターのみ回答)					
	32 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスポーツや文化等の機会を設ける機会を設けているか。	7		・職員間で情報共有しながら行っている。		
	33 児童や保護者との交流、関係者等との交流や、地域の中で他のこどもと交流する機会があるか。	1	6		・交流する機会はないが、関係者が通っている園と連携を密にしている。	
	34 日頃からこどもの状況を把握し、必要に応じて、児童発達支援計画について相談を行っているか。	7		・連絡、相談を実施している。 ・個別に様子を確認し合うよう心がけている。		
	35 事業の進捗の向上を図るため、定期的に児童発達支援プログラム(アセスメント・トレーニング)等を実施する機会を設ける機会を設けているか。	4	3		・会議等からの情報などを通して、話し合いや相談を行っている。	
	課 程 外 の 課 程	36 児童発達支援計画を作成する際には、こどもの成長の発達を促すことだけでなく、こどもの成長の発達を促すことに取り組んでいるか。	7		・個別に話し合っている。	
		37 「児童発達支援計画」を元にした支援計画の作成を行い、保護者から児童発達支援計画の共有を行っているか。	7		・様子を伝えたり、お話を聞いている。 ・より良い対応ができるようにしている。	
		38 定期的に、児童等からの学習や成長に関する個別に適切な対応や、個別の成長を促す機会を設けているか。	7		・個別支援を実施している。 ・個別支援を通して、保護者等が自立が促される機会を設けている。	
		39 父親の役割を支援することや、保護者等を支援することにより、保護者等が交流する機会を設けているか。また、必要に応じて交流する機会を設けているか。	2	5		・個別支援を通して、保護者等が自立が促される機会を設けている。
		40 こどもが個別からの困難や悩みについて、適切な対応を促すことなど、こどもや保護者と個別に、相談や介入があった場合に迅速に対応しているか。	7		・対応があった際に、職員間で迅速に対応している。	
41 個別の成長を促すことなど、こどもや保護者と個別に、相談や介入があった場合に迅速に対応しているか。		5	2		・LINE、インスタグラムを実施している。	
42 個人情報の扱いに十分注意しているか。		7		・厳重に管理している。	・今後も厳重にしている。	
43 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための工夫をしているか。		7		・職員間で話し合いながら対応を工夫している。 ・利用者に適切な方法で伝えようとしている。		
44 事業所の行事に地域住民を招き入れる等、地域に開かれた事業運営を行っているか。		4	3		・地域の施設を利用している。	
45 事業所がITツール、デジタルツール、タブレット、PC、スマートフォン等を活用し、職員間の連携や業務の効率化を図っているか。		6	1		・新しいツールや業務の効率化、開拓している。	
課 程 外 の 課 程	46 事業所がITツール、デジタルツール、タブレット、PC、スマートフォン等を活用し、職員間の連携や業務の効率化を図っているか。	6	1		・新しいツールや業務の効率化、開拓している。	
	47 事業所がITツール、デジタルツール、タブレット、PC、スマートフォン等を活用し、職員間の連携や業務の効率化を図っているか。	6	1		・事業所を支援し、積極的に取り組みを行っている。	
	48 定期的に、児童等からの学習や成長に関する個別に適切な対応や、個別の成長を促す機会を設けているか。	7		・シートに入力している。	・職員間で情報共有を行っている。	
	49 利用者がITツール、デジタルツール、タブレット、PC、スマートフォン等を活用し、職員間の連携や業務の効率化を図っているか。	3	4		・タブレット機能を活用して共有している。 ・職員間で情報共有を行っている。	
	50 安全計画を作成し、安全確保に必要な研修や、その他の必要な研修を実施し、安全確保に必要に応じて実施されているか。	7			・研修を受けていることもあるため、関係者も実施している。	
	51 こどもの安全確保に関して、関係者との連携が図られているか。また、安全計画に基づき行動しているか。	5	2		・研修を受けていることもあるため、関係者も実施している。	
	52 ITツールを事業所内で共有し、関係者に適切な方法で提供しているか。	7		・ある場合は適切に提供し、情報を共有して提供している。	・関係者の共有、共有を行う。	
	53 職員を支援するため、職員間の連携や情報伝達のための工夫をしているか。	7		・内研研修等を行っている。		
	54 どのような場合にITツールを活用する必要があるかについて、定期的に話し、こどもや保護者に事前に十分に説明した上で、児童発達支援計画に反映しているか。	7		・研修等を行っている。		